

ふれあい

第 69 号

社会福祉法人
三川町社会福祉協議会

〒997-1301

山形県東田川郡三川町大字横山字西田85-2

(三川町社会福祉センター内)

電話 (0235) 66-4410番



ふれあい広場

4月5日のふれあい広場では「ミュージックケア」を体験しました。

自分の体調を確認しながら、かわいらしい音楽によって元気に体を動かします。

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分により発行しています。

平成28年度 社会福祉協議会 事業報告

共同募金配分金事業

- 筋力トレーニング教室
 - ◎ うさぎコース…毎月第2・4木曜日。全24回(登録者37名)
 - ◎ かめコース…毎月第1・4水曜日。全21回(登録者25名)
- ふれあい福祉まつり…10月16日 ㊤ 開催。
 - 表彰・福祉作文発表・横山
 - 伝承クラブによる「御神楽」・お楽しみオンステージ
 - 体験コーナー・販売コーナー・高齢者作品展
- ふるさと少年教室…年2回(夏・冬)開催。
 - 児童延べ参加人数74名 協力者延べ人数49名
- サロンキーパーソン研修会…7月12日開催。参加人数20名
- 高齢者作品展…10月14日～17日開催。出品数113作品



ふれあい福祉まつり



ふるさと少年教室

地域福祉事業(町からの受託事業)

- 給食サービス事業…毎月第2・4水曜日。
 - 配食延べ数598食(平均25食)登録者32名
- ふれあい広場…毎月第1水曜日開催。
 - 参加延べ人数361名(自由参加)
- 元気教室…6月～2月、第2・3水曜日開催。全15回
 - 登録者38名 参加延べ人数531名
- 楽しく貯金塾…2クール各6回教室。
 - 登録者13名 参加延べ人数124名
- ミニサロン事業…町内11ヶ所で開催。
 - 福祉センターサロン1ヶ所
 - 町内高齢者サロン10ヶ所
- 家族介護者のつどい…要介護度1～5の認定者を在宅で介護している家族のリフレッシュ事業(年2回開催)
 - 延べ参加人数20名
- 家族介護教室…介護に対する知識習得。参加人数12名
- ひとり暮らし高齢者会食交流会…年8回開催。参加延べ人数115名



筋力トレーニングうさぎコース



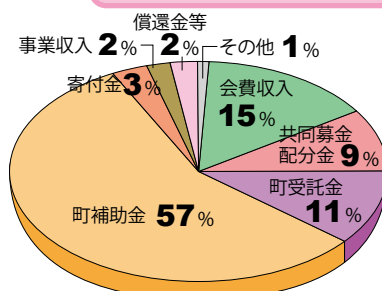
ふれあい広場

社会福祉協議会が事務局を担当している団体

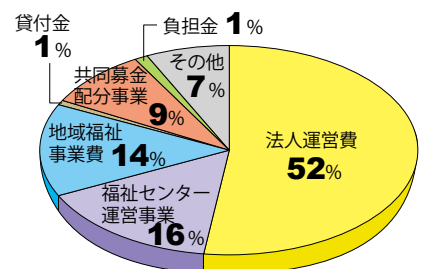
- 老人クラブ連合会
- ボランティア連絡協議会
- 手をつなぐ育成会
- 身体障害者福祉協会
- 母子寡婦福祉会

平成28年度
収支決算
※不足分は、
前期繰越金を充用

収入の部 27,840,981円



支出の部 29,081,464円



平成29年度 社会福祉協議会 事業計画

本会では、地域住民を主体として、行政・町内会・民生委員児童委員等関係機関と連携・協働を図り「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現に向けて事業を展開してまいります。

重点項目

- 地域での見守り・支え合い活動の推進
- 相談・支援体制の強化
- 地域住民の憩いの場としての社会福祉センターの充実



基本計画

- 法人運営、基盤強化 …………… 本会事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行を行うための、行政や関係機関との連絡、調整を図り適切な運営を推進する。

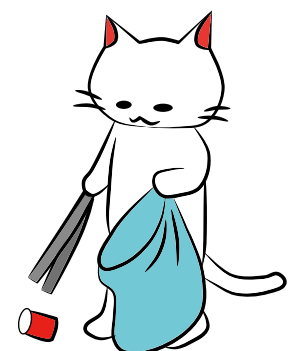
- 地域福祉推進事業の展開 ……………
 - ✿ **地域ネットワーク活動の展開**
地域における人々の共同体(コミュニティ)が、より活発に活動できるような取り組みを展開する。



- ✿ **福祉教育・ボランティア活動の推進**
ボランティアセンターとしての機能を充実させるため、町民が積極的にボランティア活動に参加できるような研修事業や、ボランティア団体への活動支援等の事業を実施する。

- ✿ **福祉団体等組織の育成支援**
町民の主体的、自主的運営による各種団体や組織に対する情報提供や事務的支援を展開し、活動の充実を図る。

- 在宅福祉サービスの展開 …………… 高齢化が進展する状況において、より健やかで安心して暮らせるように、見守り活動や健康を保つための支援を展開する。
- 障がい児者への支援事業の展開 …………… 障がい児者の社会参加の促進とその家族が安心して生活できるよう、相談・情報提供を行う。
- 母子・父子世帯への支援事業の展開 …… 抱えている課題に対する情報提供や支援を行う。
- 生活支援活動の展開 …………… 日常生活での様々な問題に対する各種相談のほか、福祉資金の貸付相談や権利擁護のための支援活動などを展開する。
- 共同募金活動の展開 ……………
 - ✿ ふれあい福祉まつり10月15日 ㊤ 開催予定
 - ✿ 赤い羽根共同募金運動の推進
(10月1日～12月31日)
 - ✿ 歳末たすけあい運動の推進
(12月1日～12月31日)
- 施設の適正管理 …………… 町民の社会福祉の拠点として、利用者の誰もが安心して利用できるように施設運営を行う。



三川町すみれ会からのお知らせ ～三川町母子寡婦福祉会～

昨年度より、ひとり親家庭を対象とした『学習支援事業』を始めました。小学3年生～中学3年生までのひとり親家庭のお子さんであれば、すみれ会会員でなくても参加できます。毎週土曜日午後1時30分から三川町社会福祉センターを会場に、楽しく勉学に励んでおります。参加費、テキスト代は無料です。



連絡先 すみれ会事務局 (福祉センター内) ☎66-4410

三川町身体障害者福祉協会からのお知らせ ～会員募集～

身体障害者手帳(聴覚障害・視覚障害・内部障害を含む)を持つ当事者の会です。活動内容は、会員間の交流や研修、また、山形県身体障害者福祉共催主催の各種行事や大会への参加、会員の集いとしてレクリエーションを企画しています。また、当会に加入の方々は「山形県身体障害者福祉協会会員証」にて協力店での料金割引等のサービスを受けることもできます。

一人より二人、二人より三人と多数の力を結集すれば、よりおおきな力となって、生きがいを持った暮らしを送ることができると思います。一緒に活動してみませんか。

連絡先 三川町身体障害者福祉協会事務局 (福祉センター内) ☎66-4410



福祉センターをきれいにして いただきました



今年も日赤奉仕団つくしの会の皆様から、福祉センターの草むしりをしていただきました。

また、一人暮らし高齢者会食交流会の皆様からは花植えをしていただき、正面玄関が華やかになりました。



ありがとうございました

● ありがとう ●

先月発生しました九州北部豪雨において亡くなられました方々のご冥福をお祈りするとともに、被災されました方々の一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、この4月に事務局長となり、早くも4か月が過ぎました。社協の仕事に従事してみますと、事業を行なう毎に多くの方々の暖かいご理解とご協力を受けていることを実感し、皆様の「笑顔」が支えとなり、ボランティアの方々から「町民パワー」をいただき、前向きに進むことができました。心より感謝いたします。

これからも、身近で気軽に心が触れ合う存在、一緒になって地域活動に取り組んでいく社会福祉協議会であり続けたいと思っております。引き続きよろしくお願いいたします。

社会福祉協議会 事務局長 須藤輝一